

前期第 9 講 予習確認テスト 動名詞

氏名()日時(6月19日) 得点(/100)

次の英文の下線部の中で,《to+動詞の原形》で置きかえても意味がほぼ同じになるものを選び,記号で答えなさい。

- (1) She started studying English two years ago. []
- (2) I remember talking with her somewhere, but I can't remember the place. []
- (3) Playing tennis is a lot of fun. []
- (4) He finished drawing the picture yesterday. []
- (5) I enjoyed talking with her last evening. []
- (6) The baby began crying suddenly. []
- (7) They stopped dancing and began to talk. []
- (8) He was afraid of using a knife. []
- (9) Getting this ticket was very hard. []
- (10) He went away without saying a word. []

解答・解説

動名詞と不定詞はどちらも「～すること」と訳されることがあります。しかし、意味の中心にあるイメージは異なります。不定詞 to V は「未来・未然」のイメージを持ち、まだ実現していないこと、これからすること、目的として向かうことを表しやすい形です。一方、動名詞 Ving は「過去・同時・反復・終了・経験・忌避」のイメージを持ちます。

不定詞 to V は、これから行う内容を表す動詞と相性がよいです。たとえば、decide to V「～することを決める」、want to V「～したい」、promise to V「～すると約束する」などは、まだ実現していない未来の行為を表すため、不定詞を取ります。これらは基本的に decide Ving / want Ving / promise Ving とはしません。

一方、動名詞 Ving は、すでにしたこと・実際にしていること・繰り返すこと・終えたこと・避けたいことと結びつきます。過去・経験のイメージでは admit Ving「～したことを認める」、deny Ving「～したことを否定する」のように、すでに行ったことを対象にします。同時・実際の行為のイメージでは enjoy Ving「～することを楽しむ」のように、実際にその行為をしながら楽しむ感じがあります。反復・検討のイメージでは consider Ving「～することをよく考える」、practice Ving「～する練習をする」のように、繰り返し行う・頭の中で何度も扱う動作と結びつきます。忌避のイメージでは mind Ving「～することを嫌がる」、miss Ving「～しそこなう」、escape Ving「～することを免れる」のように、ある行為を避ける・しない方向の意味と結びつきます。

また、start や begin のような「開始」を表す動詞は、これから行うことに目を向ける不定

詞とも、実際に始まった行為を表す動名詞とも相性がよいため、どちらも使えます。しかし、finish のような「終了」を表す動詞は、すでに行われている行為を終えるという意味になるため、動名詞のみを取ります。

(1) ○

She started studying English two years ago.

訳:彼女は2年前に英語を勉強し始めました。start は「開始」を表す動詞なので、後ろに動名詞も不定詞も置くことができます。開始の時点では、「これから勉強する」という未来・未然の見方もできますし、「実際に勉強という行為が始まった」という見方もできます。したがって、started studying は started to study に書きかえても意味はほぼ同じです。全文は She started to study English two years ago. となります。

(2) ×

I remember talking with her somewhere, but I can't remember the place.

訳:私はどこかで彼女と話したことを覚えています。その場所を思い出せません。remember talking は「話したことを覚えている」という意味です。すでに彼女と話したという過去の経験を思い出しているため、過去・経験のイメージを持つ動名詞 talking が使われています。一方、remember to talk は「忘れずに話す」という意味です。不定詞は未来・未然のイメージなので、「これから話すことを忘れない」という意味になります。したがって、意味が変わるため置きかえられません。

(3) ○

Playing tennis is a lot of fun.

訳:テニスをするのはとても楽しい。

Playing tennis は、文の主語になっている動名詞です。「テニスをする」という意味を表しています。動名詞が主語になる場合、不定詞を主語にしても意味がほぼ同じになることがあります。全文は To play tennis is a lot of fun. とすることができます。動名詞は「実際に行う活動」という感じがやや強く、不定詞は「行為そのもの」を一般的に述べる感じがありますが、この文では大きな意味の違いはありません。

(4) ×

He finished drawing the picture yesterday.

訳:彼は昨日その絵を描き終わりました。

finish は「終了」を表す動詞です。終了できるのは、すでに始まっていて、実際に行われている行為です。そのため、finish の後ろには動名詞を置きます。finish drawing は正しいですが、finish to draw とは言いません。開始を表す start / begin は不定詞・動名詞の両方が可能ですが、終了を表す finish は動名詞のみを取る点が重要です。

(5) ×

I enjoyed talking with her last evening.

訳:私は昨夜、彼女と話すことを楽しみました。

enjoy は、実際に経験した行為を楽しむ動詞です。まだ行っていない未来の行為ではなく、実際にしたこと・していることを対象にするため、動名詞を取ります。enjoy talking は正しいですが、enjoy to talk とは言いません。enjoy playing tennis / enjoy reading books / enjoy talking with friends のように、enjoy の後ろは動名詞と覚えます。

(6) ○

The baby began crying suddenly.

訳:その赤ん坊は突然泣き始めました。

begin は start と同じく「開始」を表します。開始は、「これからその動作に入る」という未来・未然の見方もできますし、「その動作が実際に始まった」という見方もできます。そのため、began crying は began to cry に書きかえても意味はほぼ同じです。全文は The baby began to cry suddenly. となります。

(7) ×

They stopped dancing and began to talk.

訳:彼らは踊るのをやめて、話し始めました。

stop Ving は「それまでしていたことをやめる」という意味です。ここでは、それまで続けていた dancing という行為を終えたことを表します。一方、stop to V は「一時停止して、そのあと V する」という意味で、stop and then V とほぼ同じです。つまり、stop to dance は「立ち止まって、そのあと踊る」という意味になります。stopped dancing とは意味が大きく変わるため、置きかえられません。

(8) ×

He was afraid of using a knife.

訳:彼はナイフを使うことを恐れていました。

of は前置詞です。前置詞の後ろには名詞が必要なので、動詞をそのまま置くことはできません。動詞を名詞の働きに変えた動名詞 using を置きます。したがって、of using a knife は正しいですが、of to use a knife とは言えません。be afraid of Ving / be good at Ving / without Ving / before Ving など、前置詞の後ろは動名詞になることを押さえます。

(9) ○

Getting this ticket was very hard.

訳:この切符を手に入れることはとても大変でした。

Getting this ticket は、文の主語になっている動名詞です。「この切符を手に入れること」という意味を表しています。動名詞が主語になる場合、不定詞を主語にしても意味がほぼ同じになることがあります。全文は To get this ticket was very hard. とすることができます。動名詞は実際の行為、不定詞は行為そのものを表す感じがありますが、この文ではどちらもほぼ同じ意味です。

(10) ×

He went away without saying a word.

訳:彼は一言も言わずに立ち去りました。

without は前置詞なので、後ろには動名詞を置きます。without saying a word で「一言も言わずに」という意味です。without to say とは言えません。without eating breakfast / without opening the door / without saying anything のように、without の後ろは動名詞になることを覚えま

す。

【まとめ】

① to V は「未来・未然」

decide to V「～することを決める」

want to V「～したい」

promise to V「～すると約束する」

hope to V「～することを望む」

plan to V「～する予定である」

② Ving は「過去・同時・反復・終了・経験・忌

避」

admit Ving「～したことを認める」

deny Ving「～したことを否定する」

enjoy Ving「～することを楽しむ」

consider Ving「～することをよく考える」

practice Ving「～する練習をする」

finish Ving「～し終える」

mind Ving「～することを嫌がる」

miss Ving「～しそこなう」

escape Ving「～することを免れる」

③ 開始を表す動詞

start Ving ⇔ start to V

begin Ving ⇔ begin to V

開始は「これから始める」という未来方向と、「実際に始めた」という行為の両方を含むため、不定詞・動名詞のどちらも使えます。

④ 終了を表す動詞

finish Ving

終了できるのは、すでに始まっている行為だけです。そのため、finish の後ろは動名詞のみです。

⑤ 意味が変わる動詞

remember Ving「～したことを覚えている」

remember to V「忘れずに～する」

stop Ving「それまでしていたことをやめる」

stop to V「一時停止して、そのあと V する」

≡ stop and then V

⑥ 前置詞の後

of Ving

without Ving

前置詞の後ろは名詞が必要なので、動詞を置く場合は動名詞にします。